

輝け地域御朱印

埼玉県企業局 茂木順子

今、日本ではボランティア活動が昔に比べるとかなり一般的になってきた。災害が起きると必ず駆けつける人もいるが、どこの支援活動をしてきたかは本人でないと分からない。また、評価もされにくい。地域共生活動は、ボランティアの力も重要なはずである。

このボランティアを記録するツールとして、地域御朱印帳を作成することを提案したい。

【広まれ地域御朱印帳】

地域のボランティア

イベントの支援

災害支援

その他地域共生の支援

地域ごとの個性あふれる印や揮毫、スタンプで
共生支援やイベント名とともに朱印帳に書く

このような様々な地域活動に参加してくれた人への御礼と活動の記録のために、スタンプを押す地域御朱印帳があったらどうだろうか？

この御朱印欲しさの支援というのはダメだが、頑張ってくれたことに対する地域からのお礼という形。

スタンプも消しゴムハンコなど、立派なものでなくともいい。地域の特色を盛り込んだものだと面白いだろう。

現在、御朱印は人気がある。パスポートのように支援したところの名前と日付があれば、それを見た人が「ここで何したの?」「車いすの人のハイキング支援だよ。」という風に、その地域の共生活動をスタンプをもとに情報交換をしたり、支援の話がアルバムを見るのと同じように人々の話にでるのではないだろうか。それらが積み重なって、支援することに人々の関心を集められるかもしれない。

日本でボランティアの募集は、各地の社協や、NPO など、いろんな団体が行っている。そのため、統一性がないし、いくつか支援しても、募集するプラットフォームが違えば記録も集計されない。

そこで支援者の活動を共通に記録するツールとして、参加してくれる人の一つの記念や記録の一つとして、この御朱印システムが始まるといいと思う。